

2019年度冬 農業・資源経済学特別講義II

～近現代の日本村落を史料から読み解く～

集中講義期間：2020年1月14-15日、21-22日

講師：坂口正彦 先生 (大阪商業大学)

対象：大学院生 ※学部生の聴講も歓迎します

●オープンセミナー

20世紀前半期日本村落の 経済的機能

—滋賀県能登川地区調査から—

事前
登録
不要

[日時] 1月22日(水)
PM16:00～18:00

[会場] 農学部図書館ゼミナール室 I

セミナー終了後、懇親会もごさいます。ご参加をお待ちしています

主催：大学院農学生命科学研究科農業・資源経済学専攻

担当：戸石七生

TEL:03-5841-5326

MAIL:atoishi@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

お問い合わせ
せはこちらへ

●集中講義詳細

開始：2020年1月14日10:30

場所：農学部図書館ゼミナール室 I

※15日午前のみ農学部図書館会議室

1月14日午前 ムラ社会の仕組み(長野)

1月14日午後 戦前農村(長野)

1月15日※ 戦時の「満洲」移民(長野)

1月21日午前 戦時の家族と生存維持
(徳島)

1月21日午後 戦後農村(長野)

1月22日午前 戦後山村(長野)

1月22日午後 調査研究の方法(全国)



参考文献：『近現代日本の村と政策』

東大所属の学生はEbookで閲覧可

(<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000025832?9>)